

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966

<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



県美の森、亀山山頂公園登り口(撮影者/吉村哲明)

2020年5月1日号 Vol.82

地域づくり計画策定委員会からのお知らせ 住民アンケート調査

「住民アンケート調査」を実施します。アンケートは令和2年3月1日現在、白石地区にお住まいの18歳以上の方、約4人に1人にあたる2,000人を無作為に選ばせて頂き、**3月23日**に発送しました。

お手元に届いた方は、同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らず**に**4月30日(木)までに**返送してください。



この封筒で
送っています

アンケートが届いた方は
ぜひ、ご協力をお願いします!

JR山口駅構内において白石地域の写真展を開催します!

他地域住民の皆様へ白石地域の魅力を発信するために、山口駅構内待合室に写真を掲示します。

つきましては地域の皆様方へ出品のご協力をお願い致します。

※写真のサイズは問いません。出品された方には粗品を進呈します♪

6月19日(金)までに、白石地区地域づくり協議会へご郵送、またはご持参ください。

住所：〒753-0046 山口市本町1-1-25

白石地域交流センター内 白石地区地域づくり協議会 宛

電話：083-928-2323



たくさんのご出品
お待ちしております!



白石歴史探訪の会講演会

小山先生講演会 延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大予防の為、講演会開催日を変更いたします。

5月9日(土)



7月25日(土)

お 知 ら せ

新型コロナウイルス感染症の拡大予防の為、
下記に予定していましたイベントは中止となります。

- ・ 5月17日(日)白石地区町内親睦大運動会
- ・ 5月30日(土)ほたるまつり
- ・ SL「やまぐち」号は当面の間、運転休止のためおもてなしイベントの開催は未定です。



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。
変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。

第13回

錦小路卿埋葬

皇政復古七十年記念山口史蹟図は、山口県文書館のホームページでご覧になれます。



異郷の地にて

かつて赤妻山と呼ばれたその山は、現在は開発が進み、閑静な住宅地となっています。その一角に「贈正四位丹波頼徳朝臣墓」と刻まれた墓石と石碑が建っています。

丹波頼徳とは、文久3年(1863)8月18日に起きた京都御所での政変により、長州へと逃れた七卿のひとり、錦小路頼徳のことで、



錦小路頼徳の墓と顕彰碑
(山口市赤妻町)

墓石の背後にある石碑は、明治3年(1870)4月に建てられた彼の顕彰碑で、篆額は七卿のリーダー格である三条実美、撰文は加藤有隣、書は長三洲によるものです。石

碑の裏面には実美をはじめ、三条西季知、東久世通禧、壬生基修、四条隆譚、土方久元、尾崎三良といった、建立に携わった七卿のメンバーや、その随従員の名前が刻まれています。

砲台巡視

元治元年(1864)3月26日、当時、大内氷上の氷上山眞光院に滞在していた頼徳は、他の5人の公家とともに、下関砲台巡視のため湯田を騎馬にて出発。途中、山陽道の山中駅で昼食をとりますが、その最中、突然咯血。そこからは輿に乗せられ、下関へと向かいました。

27日、下関に到着した一行は、白石正一郎邸に宿泊。

翌日の砲台巡視には、頼徳も従いました。しかし、途中で数回咯血し容体が悪化したため、引き返し、病の床へ就くことになりました。

4月5日、他の公家たちは湯田へ帰着しますが、そこに頼徳の姿はありませんでした。そして、25日、彼は薬石効なく、下関においてこの世を去ったのでした。

「はかなくも三十路の夢はさめてけり

赤間関の夏の夜の月」

「君がためすてむ命のいたづらに

露と消えゆくことおしぞ思ふ」

この歌は、頼徳が、病床で最期の刹那に、東方に向かい、再拜して詠んだ辞世です。京都を離れる際、彼は妻子に手紙を書きました。そこには、「生きて再び帰らぬ」。そう記してありました。

意気豪快なる人物であった彼は、長州へ下向した約2カ月後、三田尻から大内氷上に転居しましたが、その頃から体調がすぐれませんでした。医師からも静養するようにと勧められていましたが、日々、湯田まで往復し、国事を論じ、出張の必要あれば、好んでその任に当たることを常としていました。

その後、彼の遺骸は下関から山口へと移され、5月8日、前町の龍泉寺において、世子・毛利元徳が喪主となり葬儀が執り行われました。

異郷の地に倒れた公家・錦小路頼徳。享年30でした。

食推だよりその37
減塩レシピ作ってませんか?
～減塩推進事業～

さば缶豆腐ハンバーグ♪

【材料】

(4人分)

さばの味噌煮缶 (身と汁を分ける)	1缶(190g)
木綿豆腐	1/2丁(200g)
長ねぎ	1/3本(40g)
パン粉	大きじ3
片栗粉	大きじ1
ごま油	小さじ2

【作り方】

- ①木綿豆腐は、キッチンペーパーを敷いた耐熱皿に乗せ、電子レンジで約2分30秒加熱し、水切りする。※豆腐の水分はしっかりと絞る。
- ②長ねぎは、みじん切りにする。
- ③ボウルに、さばの味噌煮缶の身と、①と②、パン粉、片栗粉を入れてよく混ぜ合わせる。
- ④8等分にして、空気を抜きながら丸める。
- ⑤フライパンにごま油を熱し、④の両面を弱火でこんがり焼き、仕上げにさばの味噌煮缶の汁を絡める。

さばのアブラを丸ごと取れる!



☆栄養(1人分) エネルギー177kcal 塩分0.6g